

郷土こぼれ話

地域の神様 ⑩ 代・八坂神社の屋台

代の国道407近くに、代グラ（代グラウンド）と呼ばれるところがあります。その近くに「天王さまの小屋」と呼ばれる建物があります。八幡神社に合祀されている八坂神社のお神輿が納められています。つまり、八坂神社の倉庫（八坂神社の神庫）だといえます。



天王さまの小屋(八坂神社の神庫)



八幡神社境内の八坂神社

神庫には神輿が納められ、毎年担がれています。しかし、神庫左側の部分に収納してある屋台はしばらく組み立てられることはありませんでした。

「おじいさんが子どもの頃、地域を引き回したそうだ。」「熊谷のお祭にこの山車を曳いていったそうだ。」これらの話から、100年から130年前までは組み立てが行われていたと思われます。

地域の有志の発案で、平成30年に組み立て復元がされること

になりました。7月3日、酷暑の中で復元作業が行われました。屋台は4輪で屋根がある形でした。ちなみに、屋根がある形を「屋台」と言い、人形が飾られる形を「山車」といいます。また、熊谷の祭り（うちわ祭）も、八坂神社の祭礼であることから神事に協力していたのではないかと考えられます。



屋台復元作業



左側倉庫に屋台



右側倉庫に神輿

屋台は、屋根板や幕等の一部を除いて復元されました。このような屋台が伝えられていることは、地方の文化を伝える上で大変重要だと考えられます。倉庫の中には、二つの絵馬が奉納されています。一つは、嘉永5年秋九月奉納と書かれ、12名が京都の八坂神社と思われる神社にお参りしている絵が描かれています。当時の様子を伝える貴重な資料だと考えられます。

参考：復元をしている人からお話を伺いました

文・写真：むらた ひとし

大幡公民館だより別刷り 平成30年10月